

淺野長勳

（傳）

舊唐島藩主。

大保十一年七月

二十一日女執國生れ、

昭和十一年二月一日歿（八四一―一九三七）。

字公業、幼名喜代權、爲五郎、

初名長興、茂勳。號坤山。淺野藤忠昭の長男、淺野長訓の養子。幕府に

批判的な大名勢力の代表格。單獨で長州と講和を結ぶ、慶應二年倒幕

出兵を盟約。明治二年廣島藩主、のち元老院議員、宮内省華族局長官、

貴族院議員歴任。侯爵。和歌、漢詩を能くした。

著書 『蕪海と五十名家』（公著・齋藤利堂編著、大正九年十一月二十

日靜岡・富永寛明刊、精利堂發賣）、『淺野長勳法撰漢歌』（昭和七

年十一月迄、無刊記）『代々木會談叢』（）、『淺野長勳の敘傳』（千鳥

益雄編、昭和十一年二月二十八日平野書房）等。また、雙鶴野矢鶴記念

誌『雙鶴集』全三冊附索引（大正七年二月迄、無刊記）がある。